

熊本市防災基本条例（仮称）の制定に向けた市民アンケートについて（概要版）

【実施期間】 2021年11月22日～2022年2月4日まで

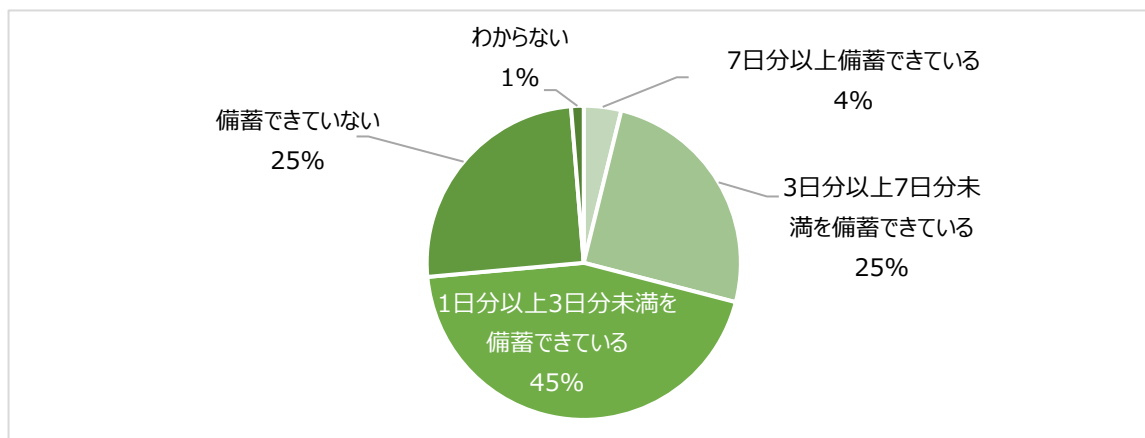
【実施方法】 熊本市ホームページのアンケートシステムを活用

【回答数】 2,077件（対象者：市内在住または市内に通勤・通学する者）

1 災害に備えて、水・食料品等の備蓄ができていますか？

7日以上備蓄できている	80	4%
3日以上7日分未満を備蓄できている	523	25%
1日以上3日分未満を備蓄できている	925	45%
備蓄できていない	522	25%
わからない	27	1%

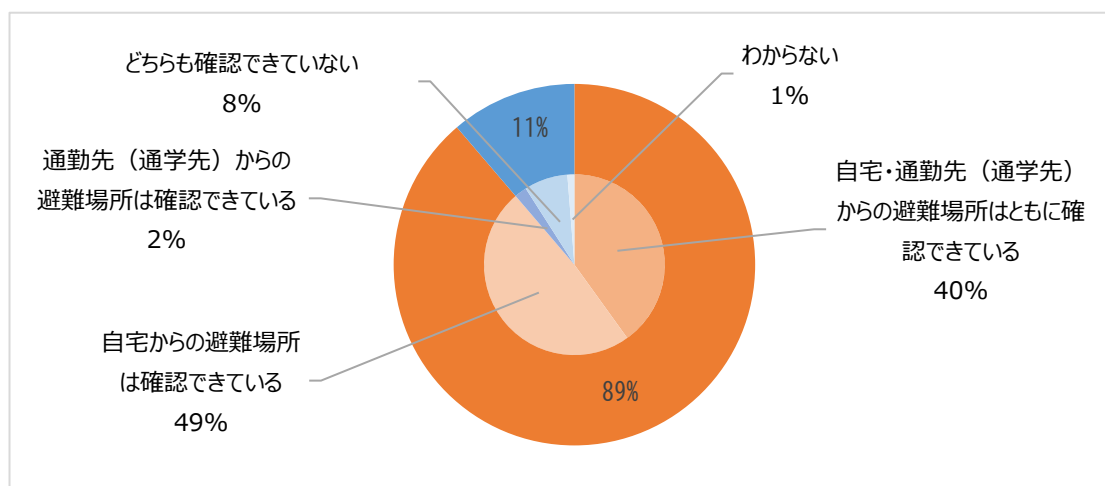
計 2,077



2 災害に備えて、避難所等の場所を把握していますか？

自宅・通勤先（通学先）からの避難場所はともに確認できている	832	40%
自宅からの避難場所は確認できている	1011	49%
通勤先（通学先）からの避難場所は確認できている	46	2%
どちらも確認できていない	162	8%
わからない	26	1%

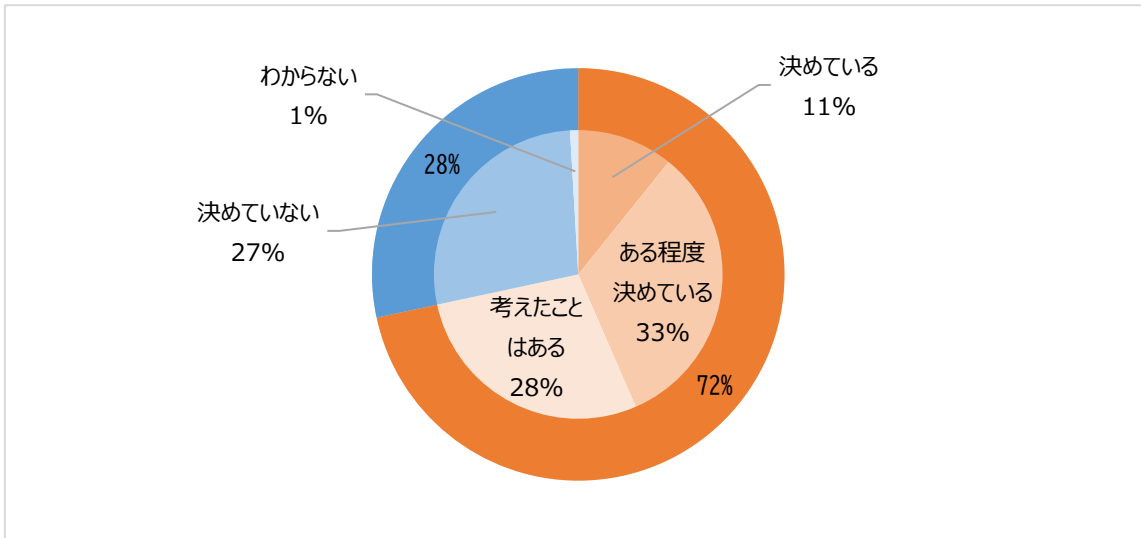
計 2,077



3 風水害（梅雨末期の大雨や台風）など予測できる災害では、どのようなタイミングで避難するか決めていますか？

決めている	224	11%
ある程度決めている	679	33%
考えたことはある	585	28%
決めていない	570	27%
わからない	19	1%

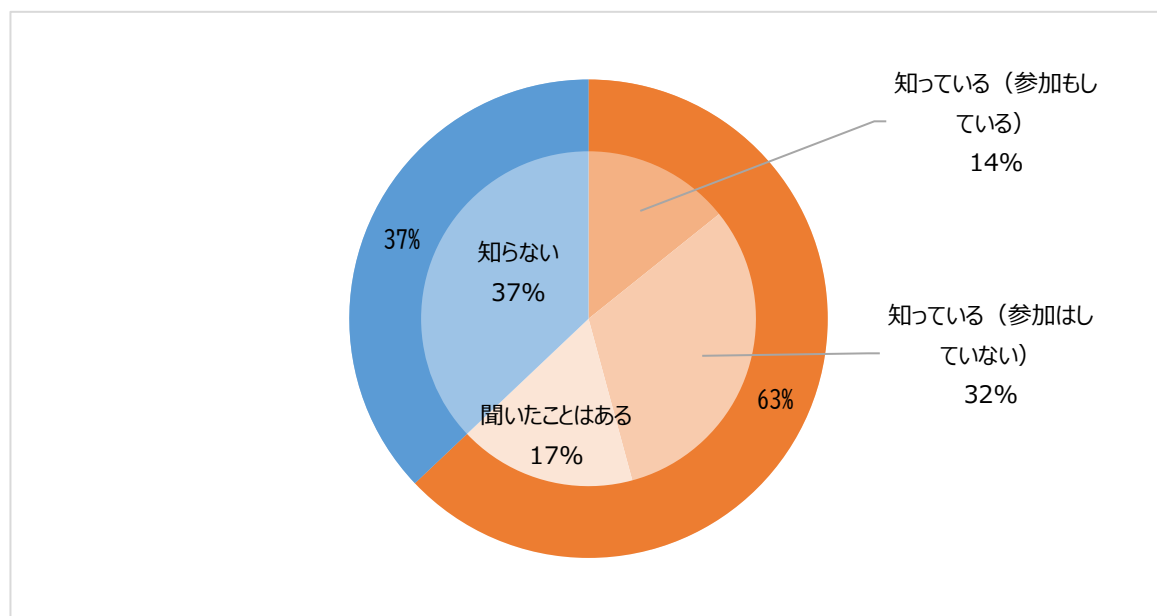
2,077



4 熊本地震後、校区ごとに設置している校区防災連絡会を知っていますか？

知っている（参加もしている）	296	14%
知っている（参加はしていない）	655	32%
聞いたことはある	356	17%
知らない	770	37%

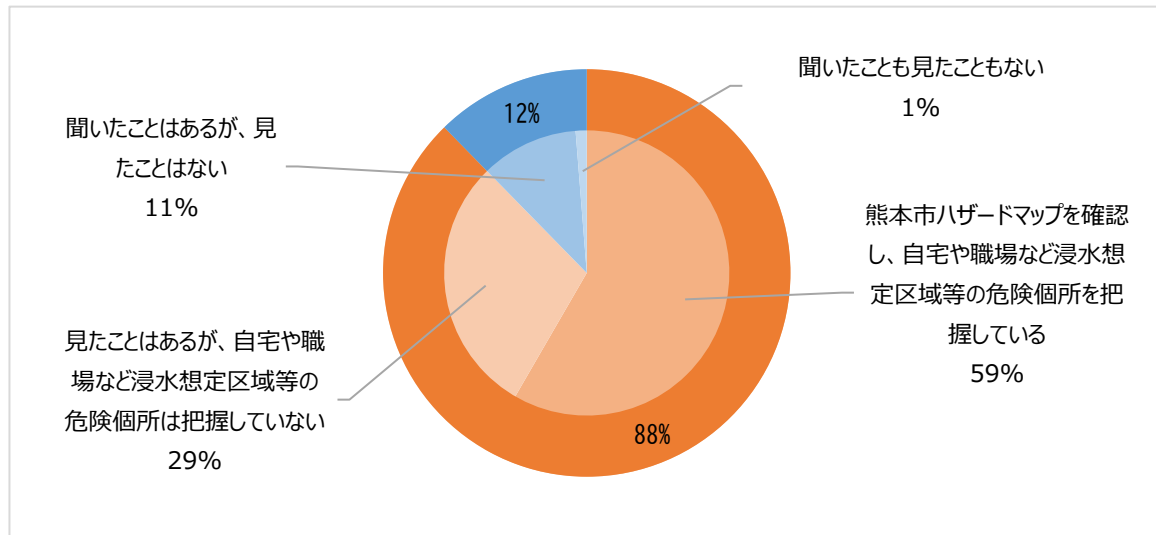
計 2,077



5 令和2年4月から熊本市ハザードマップを市のホームページで公開していますが、熊本市ハザードマップを確認したことがありますか？

熊本市ハザードマップを確認し、自宅や職場など浸水想定区域等の危険個所を把握している	1,212	59%
見たことはあるが、自宅や職場など浸水想定区域等の危険個所は把握していない	609	29%
聞いたことはあるが、見たことはない	230	11%
聞いたことも見たこともない	26	1%

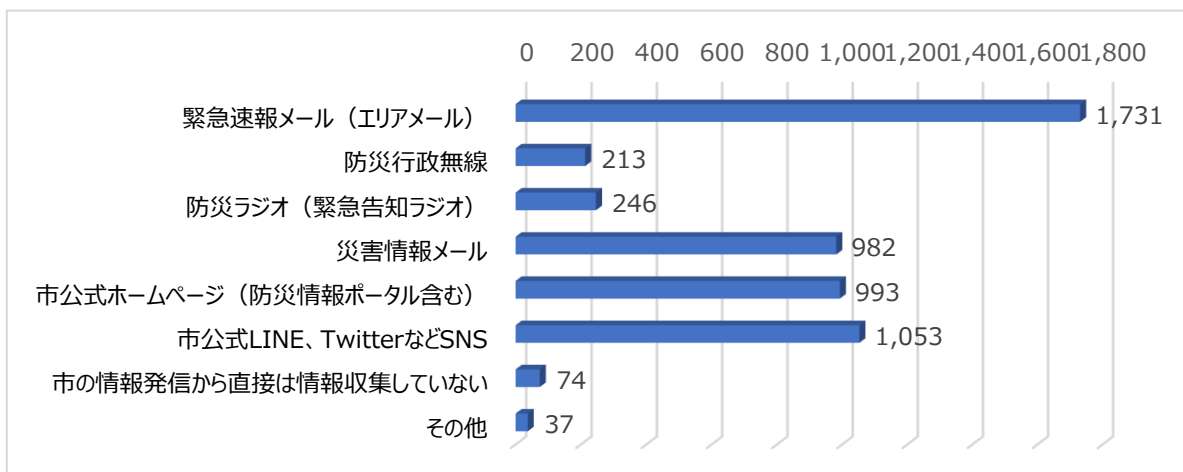
計 2,077



6 豪雨時などに本市が発信する災害情報について、あなたが確認している手段を全て教えてください
(あてはまるものを全て選択)

緊急速報メール（エリアメール）	1,731
防災行政無線	213
防災ラジオ（緊急告知ラジオ）	246
災害情報メール	982
市公式ホームページ（防災情報ポータル含む）	993
市公式LINE、TwitterなどSNS	1,053
市の情報発信から直接は情報収集していない	74
その他	37

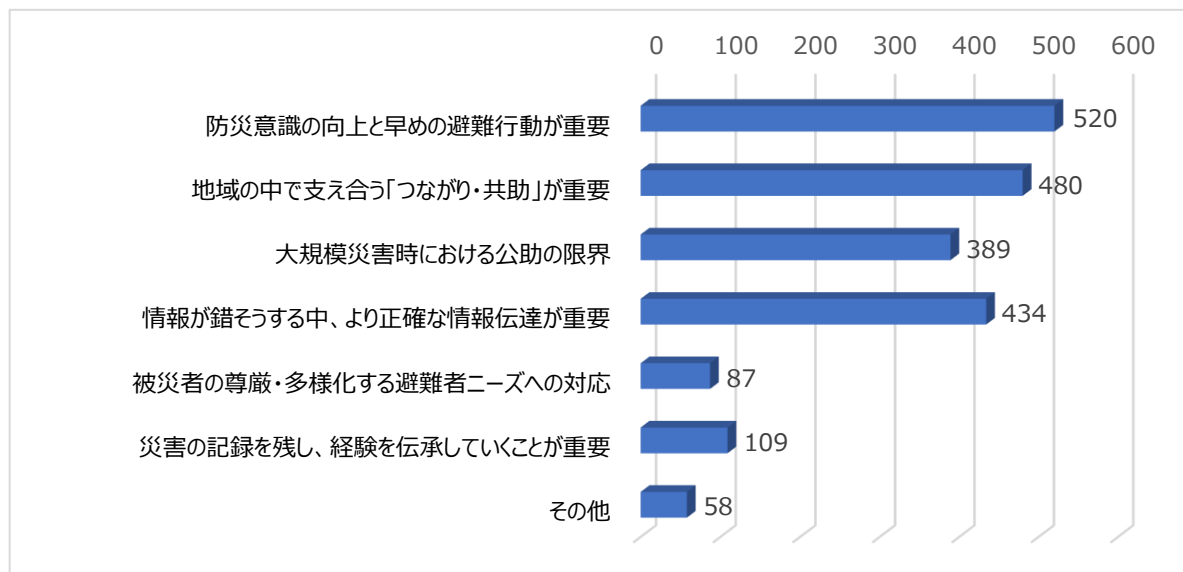
計 5,329



7 あなたが考える、熊本地震の教訓はどのようなことですか？

防災意識の向上と早めの避難行動が重要	520
地域の中で支え合う「つながり・共助」が重要	480
大規模災害時における公助の限界	389
情報が錯そうする中、より正確な情報伝達が重要	434
被災者の尊厳・多様化する避難者ニーズへの対応	87
災害の記録を残し、経験を伝承していくことが重要	109
その他	58

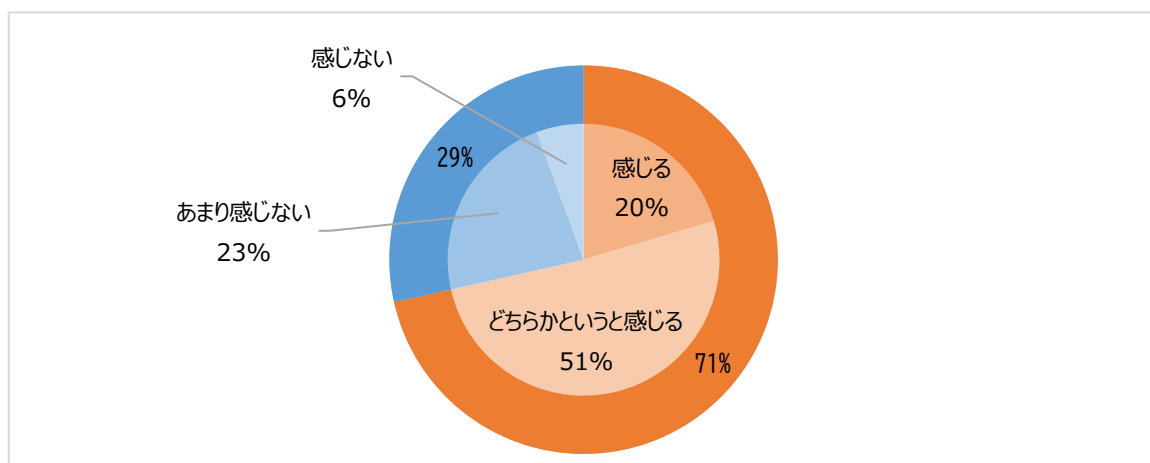
計 2,077



8 熊本地震の記憶や教訓を忘れがちになっていると感じますか？

感じる	424	20%
どちらかというと感じる	1,061	51%
あまり感じない	476	23%
感じない	116	6%

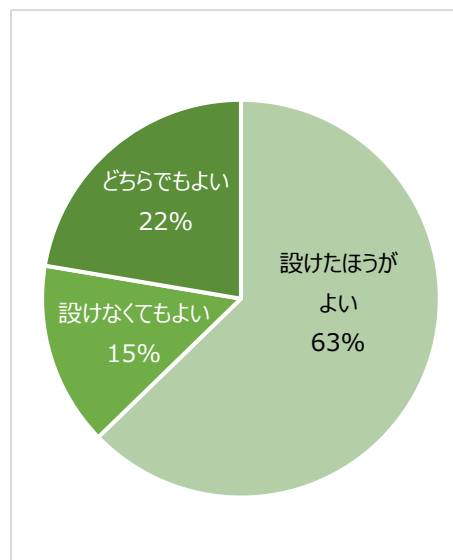
計 2,077



9 過去の災害の記憶や教訓等を忘れないために本市独自の「防災の日」などを設けることについて、どのように思いますか？

設けたほうがよい	1,303	63%
設けなくてもよい	310	15%
どちらでもよい	464	22%

計 2,077



10 あなたが「熊本市防災基本条例（仮称）」に期待することは何ですか？

行政と地域、市民がより一層連携できる	1,114
地域での助け合いがこれまでより進む	820
行政の災害対応力が強化される	851
地域の災害対応力が強化される	934
個人の災害対応力が強化される	802
熊本地震をはじめとした過去の災害の記憶が次世代に伝承される	553
その他	34
特に期待することはない	101

計 5,209

